

1 連結業績の概要

1) 連結業績概要	…P. 3
2) 売上高の変動要因	…P. 4
3) 営業利益の変動要因	…P. 5

2 連結業績の詳細

1) セグメント別売上高・営業利益	…P. 7
2) 四半期毎のセグメント別売上高	…P. 14
3) セグメント別売上高・営業利益 (計画比)	…P. 15
4) 設備投資他	…P. 16
5) 損益計算書・包括利益計算書	…P. 17



3 2012年度 セグメント別事業計画

1) 海外市場	…P. 19
2) 金融市場	…P. 20
3) 流通・交通市場	…P. 21
4) 遊技市場	…P. 22
5) その他	…P. 23

4 2013年3月期 業績予想

1) 2013年3月期 業績予想	…P. 25
2) セグメント別売上高・営業利益	…P. 26
3) 半期毎のセグメント別売上高・営業利益	…P. 27

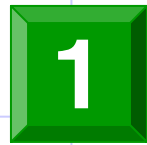
5 その他の情報

1) 配当予想について	…P. 29
-------------	--------

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



2012年3月期

連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 前期比 ……P. 3
- 2) 売上高の変動要因 ……P. 4
- 3) 営業利益の変動要因 ……P. 5

連結業績概要 前期比

売上高

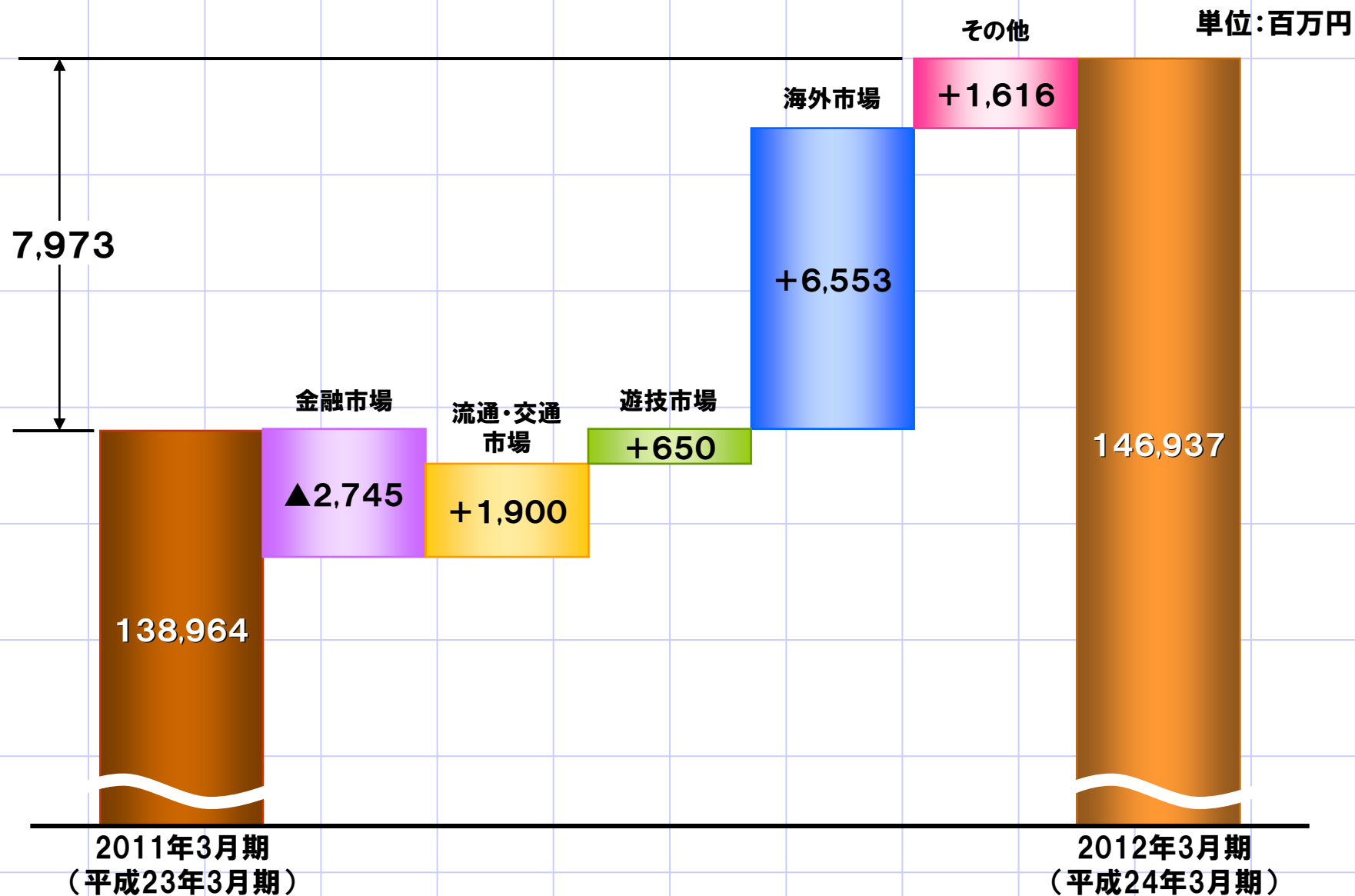
金融市場は低調であったものの、海外市場、流通・交通市場が好調に推移したことにより、前期に比べ増加。

利益

売上高の増加に加え、開発効率や生産性の向上、海外生産・海外調達等のコストダウン施策を推進した結果、前期に比べ増加。

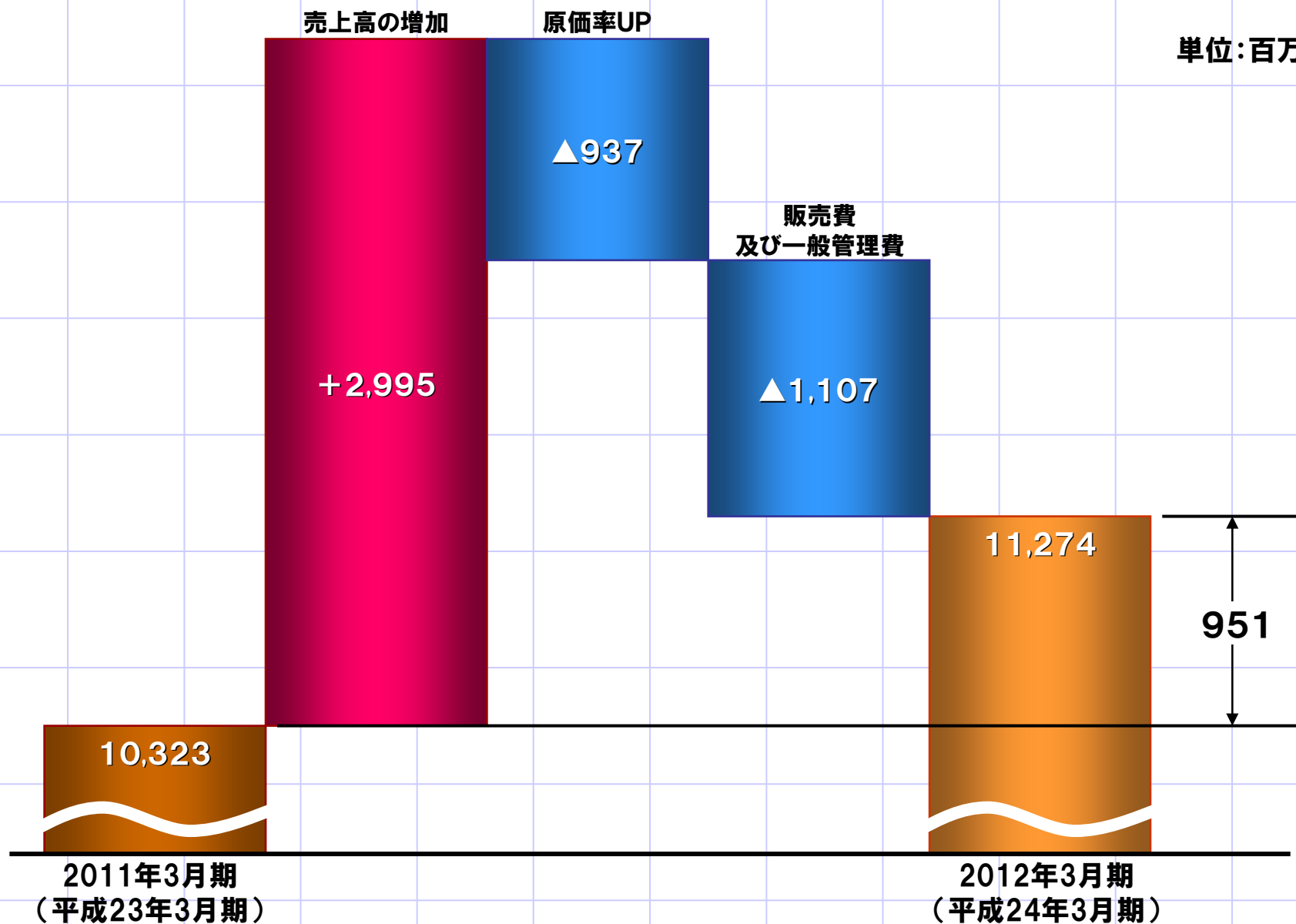
(百万円)	2011年3月期 (平成23年3月期)	2012年3月期 (平成24年3月期)	前期比
売上高	138,964	146,937	+5.7%
うち 保守売上高	32,092 (23.1%)	33,944 (23.1%)	+5.8%
営業利益	10,323 (7.4%)	11,274 (7.7%)	+9.2%
経常利益	11,028 (7.9%)	11,908 (8.1%)	+8.0%
当期純利益	6,229 (4.5%)	6,246 (4.3%)	+0.3%

※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円



営業利益の変動要因 前期比

単位:百万円



2012年3月期 **2** 連結業績の詳細

1)セグメント別売上高・営業利益(前期比)	…P. 7
2)四半期毎のセグメント別売上高	…P. 14
3)セグメント別売上高・営業利益(計画比)	…P. 15
4)設備投資他	…P. 16
5)損益計算書・包括利益計算書	…P. 17

セグメント別売上高・営業利益 前期比

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2011年3月期	2012年3月期	前期比	2011年3月期	2012年3月期	前期比
 金融市場	46,936	44,191	▲2,745 (▲5.8%)	5,586	3,954	▲1,632 (▲29.2%)
 流通・交通 市場	26,666	28,566	+1,900 (+7.1%)	2,292	3,695	+1,403 (+61.2%)
 遊技市場	24,161	24,811	+650 (+2.7%)	824	2,039	+1,215 (+147.3%)
 海外市場	28,753	35,306	+6,553 (+22.8%)	1,349	1,837	+488 (+36.1%)
 その他	12,446	14,062	+1,616 (+13.0%)	269	▲253	▲522 (-)
合 計	138,964	146,937	+7,973 (+5.7%)	10,323	11,274	+951 (+9.2%)

●主要製品の販売が低調

オープン出納システムの販売は、コンパクトタイプの大口径需要の減少により低調。OEM商品は、ATM用硬貨入出金ユニットの販売は好調であったものの、窓口用入出金システムのユニットの販売は更新需要の延伸等により低調。

セグメントの概要

国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への販売・保守

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用入出金
システムのユニット
RBシリーズ



ATM用硬貨入出金
ユニット
RCNシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比
売上高	46,936	44,191	▲2,745 (▲5.8%)
構成比率	33.8%	30.1%	▲3.7%
営業利益	5,586	3,954	▲1,632 (▲29.2%)
構成比率	54.1%	35.1%	▲19.0%
営業利益率	11.9%	8.9%	▲3.0%

●レジつり銭機の販売が好調

OEM商品である店舗入出金機の販売は低調であったものの、主要製品であるレジつり銭機の販売は、設備投資意欲の回復や大口需要の獲得により好調であり、市場全体としては堅調に推移。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



小型入金機
DS・DSSシリーズ



現金入出金機
DSRシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比
売上高	26,666	28,566	+1,900 (+7.1%)
構成比率	19.2%	19.4%	+0.2%
営業利益	2,292	3,695	+1,403 (+61.2%)
構成比率	22.2%	32.8%	+10.6%
営業利益率	8.6%	12.9%	+4.3%

●メダル関連機器の販売が好調

主要製品であるカードシステム等の販売は、競合他社との競争激化の影響もあり低調であったものの、メダル関連機器の販売は、パチスロ人気の回復を受け好調であり、市場全体としては堅調に推移。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル



カードユニット



カード精算機



景品保管機
JKシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比
売上高	24,161	24,811	+650 (+2.7%)
構成比率	17.4%	16.9%	▲0.5%
営業利益	824	2,039	+1,215 (+147.3%)
構成比率	8.0%	18.1%	+10.1%
営業利益率	3.4%	8.2%	+4.8%

●各地域で販売が堅調

米州では、OEM商品である米国向けATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が好調に推移。

アジアでは、中国を中心に紙幣整理機の販売が順調。欧州でも、イタリアの販売子会社Sitrade Italia S.p.A. の買収効果により順調に推移。

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品



紙幣整理機
UW・USFシリーズ



ATM用
紙幣入金ユニット
UDシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比
売上高	28,753	35,306	+6,553 (+22.8%)
構成比率	20.7%	24.0%	+3.3%
営業利益	1,349	1,837	+488 (+36.1%)
構成比率	13.1%	16.3%	+3.2%
営業利益率	4.7%	5.2%	+0.5%

地域別売上高

(単位:百万円)

海外 地域別売上高		2011年3月期	2012年3月期	差異
米 州		5,988	8,493	+2,505 (+41.8%)
欧 州		14,710	16,335	+1,625 (+11.0%)
アジア		8,054	10,477	+2,423 (+30.1%)
	内 中 国	3,960	5,523	+1,563 (+39.5%)
合 計		28,753	35,306	+6,553 (+22.8%)
	内 OEM	9,306	10,309	+1,003 (+10.8%)

●主要製品の販売が好調

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売や診療費支払機、券売機の販売が順調に推移。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品



診療費支払機
FHPシリーズ



印刷式同時券売機
VTシリーズ

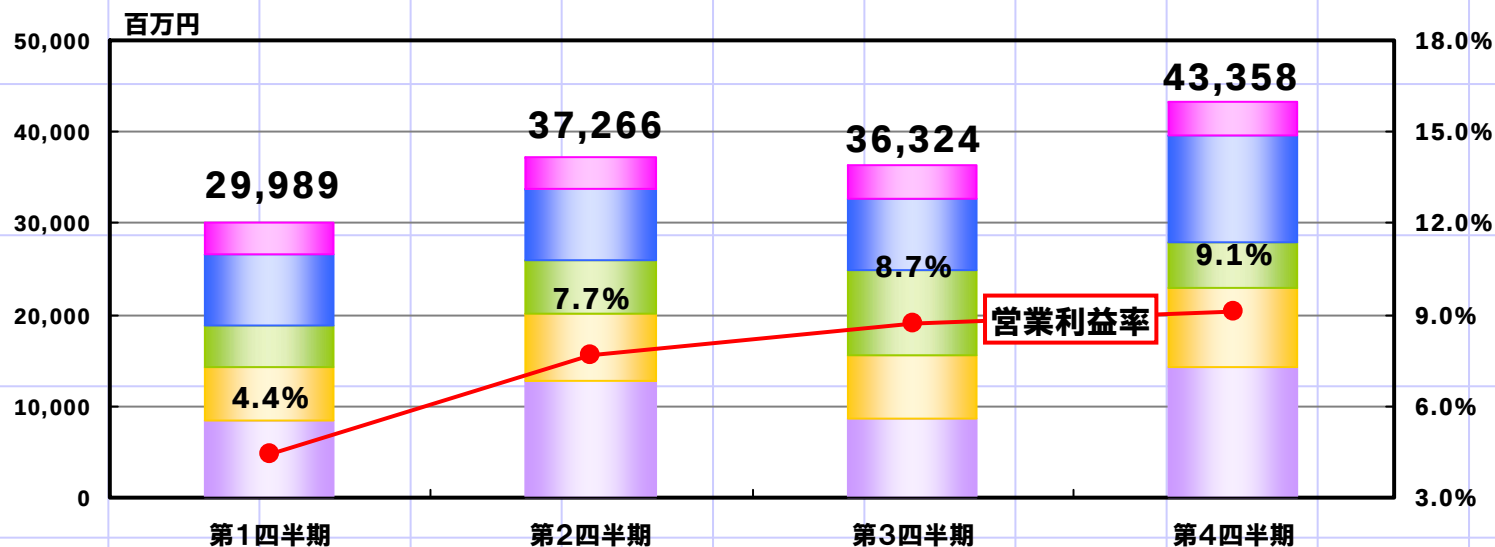


公営競馬場向け
当選金払出ユニット
RBKシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比
売上高	12,446	14,062	+1,616 (+13.0%)
構成比率	9.0%	9.6%	+0.6%
営業利益	269	▲253	▲522 (▲194.1%)
構成比率	2.6%	0.0%	—
営業利益率	2.2%	0.0%	—

四半期毎のセグメント別売上高



2012年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
金融市場	8,471(342)	12,715(1,479)	8,693(172)	14,312(1,943)	44,191(3,954)
流通・交通市場	5,836(736)	7,315(988)	6,837(769)	8,578(1,202)	28,566(3,695)
遊技市場	4,597(▲252)	5,856(381)	9,338(1,339)	5,020(571)	24,811(2,039)
海外市場	7,779(502)	7,844(234)	7,887(801)	11,796(300)	35,306(1,837)
その他	3,304(▲23)	3,535(▲235)	3,570(69)	3,653(▲64)	14,062(▲253)
合 計	29,989(1,306)	37,266(2,866)	36,324(3,148)	43,358(3,954)	146,937(11,274)

※右側の()は営業利益

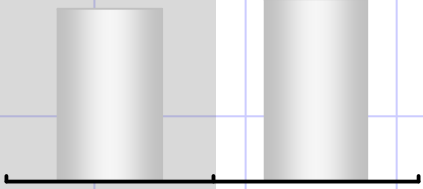
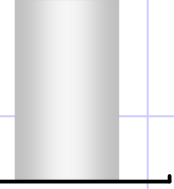
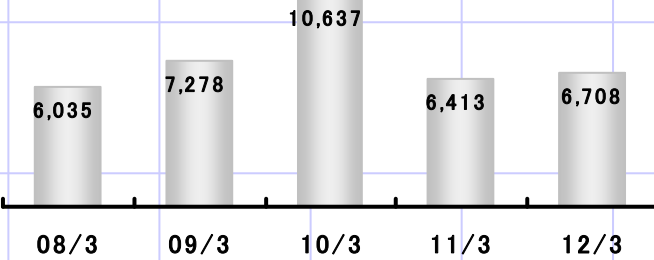
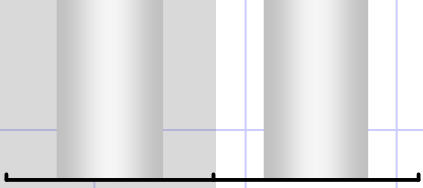
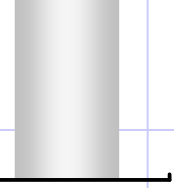
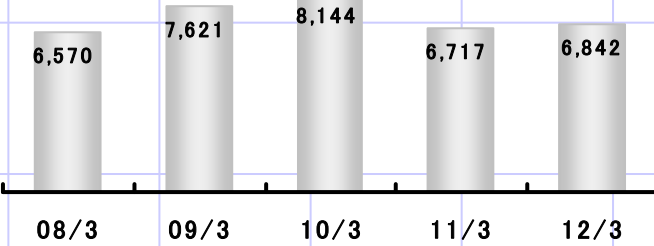
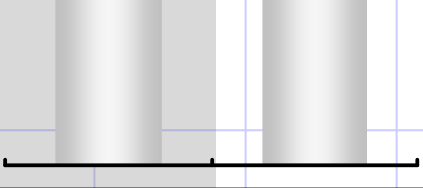
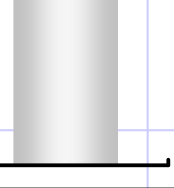
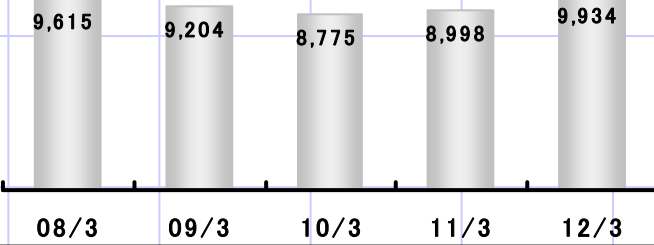
セグメント別売上高・営業利益 計画比

(単位:百万円)

セグメント	2012年3月期					
	売上高			営業利益		
	計画	実績	差異	計画	実績	差異
 金融市場	43,500	44,191	+691 (+1.6%)	3,400	3,954	+554 (+16.3%)
 流通・交通 市場	30,000	28,566	▲1,434 (▲4.8%)	4,000	3,695	▲305 (▲7.6%)
 遊技市場	24,000	24,811	+811 (+3.4%)	1,400	2,039	+639 (+45.6%)
 海外市場	34,500	35,306	+806 (+2.3%)	2,200	1,837	▲363 (▲16.5%)
 その他	13,000	14,062	+1,062 (+8.2%)	0	▲253	▲253 (-)
合 計	145,000	146,937	+1,937 (+1.3%)	11,000	11,274	+274 (+2.5%)

設備投資他

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前期比	過去5年間の推移
設備投資額	6,413 	6,708 	+295 (+4.6%)	 08/3 09/3 10/3 11/3 12/3
減価償却費	6,717 	6,842 	+125 (+1.9%)	 08/3 09/3 10/3 11/3 12/3
研究開発投資額	8,998 	9,934 	+936 (+10.4%)	 08/3 09/3 10/3 11/3 12/3

損益計算書・包括利益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2011年3月期	百分比 (%)	2012年3月期	百分比 (%)	増 減
売上高	138,964	100.0	146,937	100.0	+7,973
売上原価	86,757	62.4	92,672	63.1	+5,915
販管費	41,883	30.1	42,990	29.3	+1,107
営業利益	10,323	7.4	11,274	7.7	+951
営業外収益	1,318	0.9	1,225	0.8	▲93
営業外費用	613	0.4	592	0.4	▲21
経常利益	11,028	7.9	11,908	8.1	+880
特別利益	405	0.3	241	0.2	▲164
特別損失	1,306	1.4	507	0.3	▲779
税金等調整前 当期純利益	10,127	7.3	11,642	7.9	+1,515
法人税等合計	3,852	2.8	4,945	3.4	+1,093
当期純利益	6,229	4.5	6,246	4.3	+17
少数株主損益調整前 当期純利益	6,274	4.5	6,696	4.6	+422
その他包括利益合計	▲924	▲0.7	▲318	▲0.2	+606
当期包括利益	5,350	3.8	6,378	4.3	+1,028

①売上原価率：新製品開発費等の増加により0.7%アップ。

②特別損失：前期は退職給付費用(257百万円)、投資有価証券評価損(240百万円)等を計上

③法人税等：繰延税金資産の取崩し750百万円を計上



2012年度

セグメント別事業計画



1)海外市場	・・・P. 19
2)金融市場	・・・P. 20
3)流通・交通市場	・・・P. 21
4)遊技市場	・・・P. 22
5)その他	・・・P. 23

【海外事業 重点実施事項】地域別戦略の実践と収益モデルの確立

米 州

- 窓口用紙幣入出金機の展開拡大
- 中南米での拡販

窓口用
紙幣入出金機
RBGシリーズ

欧 州

- リテール事業の強化
- 中近東・アフリカ地域の営業強化

紙幣・硬貨つり銭機
CI-10シリーズ

アジア

- 中国の未開拓市場への営業強化
- 新興国での紙幣整理機の拡販

紙幣整理機
USFシリーズ

OEM

- OEM先との関係強化

ATM用
紙幣・小切手入金ユニット
SCDMシリーズ

【国内事業 重点実施事項】 収益性向上と事業領域拡大

現金分野

- オープン出納システムの
ターゲット市場の深掘り
- ネットワーク化提案の強化



WAVE C30シリーズ

非現金分野

- 重要物管理機の市場拡大
- 鍵管理機の拡販

セキュリティ・ストレージ・システム
BKシリーズ

DP分野

- イメージスキャナーの販売体制強化

パソコン一体型スキャナー
FUシリーズ

【国内事業 重点実施事項】 収益性向上と事業領域拡大

フロント機器市場

- 未導入市場の開拓
- ・つり銭機市場での導入業種の拡大

レジつり銭機
RT/RAD200シリーズ

後方機器市場

- スーパーマーケットでの拡販
- ・重点地域・ユーザーへの提案営業強化

小型入出金機
DSR200シリーズ

【国内事業 重点実施事項】 収益性向上と事業領域拡大

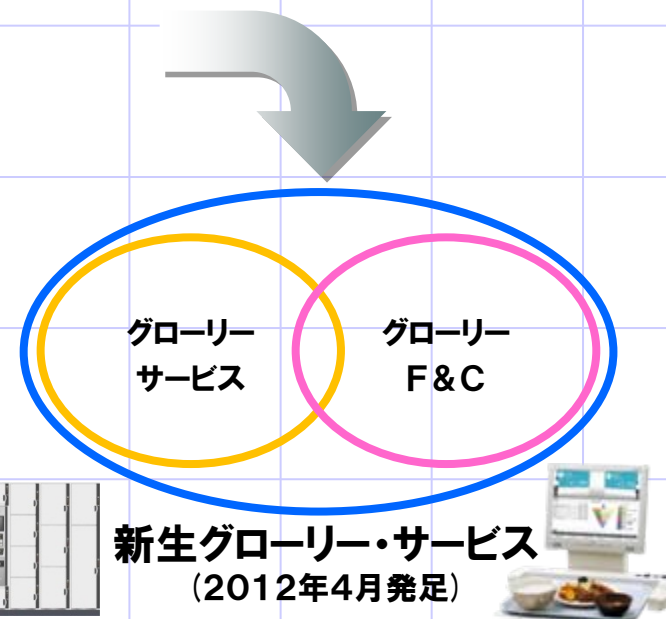
■ 競争力強化によるシェア拡大

- ・新製品の市場投入
- ・大手ホール向け製品の開発



【国内事業 重点実施事項】収益性向上と事業領域拡大

- 病院市場への営業強化
- 社員食堂システムの拡販
 - ・関係会社2社の合併効果促進
- たばこメーカーとの協業強化
- 新事業の早期事業化
 - ・電子決済
 - ・生体認証
 - ・会話保護



4 2013年3月期 業績予想



- 1)2012年3月期 業績予想 ……P. 25
- 2)セグメント別売上高・営業利益(前期比) ……P. 26
- 3)半期毎のセグメント別売上高・営業利益 ……P. 27

売上高

海外事業の拡大、並びに国内市場の深掘りが進み、前期に比べ増収を予想。

利益

売上高拡大とコストダウン施策の推進により、前期に比べ増益を予想。

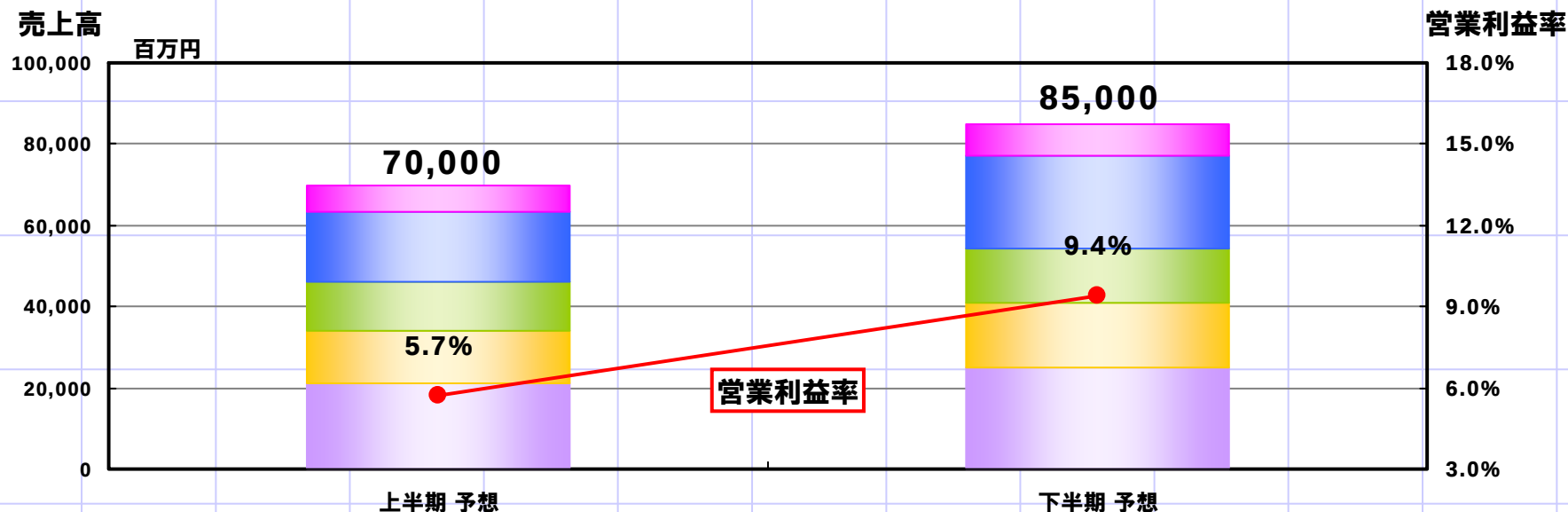
(百万円)	2012年3月期 (平成24年3月期)	2013年3月期 (平成25年3月期)	前期比
売上高	146,937	155,000	+5.5%
うち 保守売上高	33,944 (23.1%)	34,000 (21.9%)	+0.2%
営業利益	11,274 (7.7%)	12,000 (7.7%)	+6.4%
経常利益	11,908 (8.1%)	12,000 (7.7%)	+0.8%
当期純利益	6,246 (4.2%)	7,000 (4.5%)	+12.1%

※為替レート [ドル]75円 [ユーロ]105円

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2012年3月期 (平成24年3月期)		2013年3月期 予想 (平成25年3月期 予想)			
	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期比
金融市場	44,191	3,954	46,000	+4.1%	4,800	+21.4%
流通・交通市場	28,566	3,695	29,000	+1.5%	3,700	+0.1%
遊技市場	24,811	2,039	25,500	+2.8%	1,600	▲21.5%
海外市場	35,306	1,837	40,000	+13.3%	1,900	+3.4%
その他	14,062	▲253	14,500	+3.1%	0	—
合 計	146,937	11,274	155,000	+5.5%	12,000	+6.4%

半期毎のセグメント別売上高・営業利益



セグメント	上半期 予想		下半期 予想		年間 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融市場	21,000	1,700	25,000	3,100	46,000	4,800
流通・交通市場	13,000	1,300	16,000	2,400	29,000	3,700
遊技市場	12,000	300	13,500	1,300	25,500	1,600
海外市場	17,500	700	22,500	1,200	40,000	1,900
その他	6,500	0	8,000	0	14,500	0
合 計	70,000	4,000	85,000	8,000	155,000	12,000

5 その他の情報

1) 配当予想について ……P. 29

配当予想について

2013年3月期の配当について

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には

「連結自己資本配当率1.8%を下限とし、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行う」こととしております。

1株当たりの配当金	中間期末 予想	期末 予想	年間 予想
2013年3月期 (2012年5月10日公表)	21円00銭	21円00銭	42円00銭 (配当性向39.4%)

(ご参考)

2012年3月期 (2012年5月10日公表)	20円00銭	22円00銭	42円00銭 (配当性向44.2%)
----------------------------	--------	--------	-----------------------

※自己株式の取得につきましても、資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するために、適宜実施してまいりたいと考えております。